

---

# 現実と夢の境目

桜桃

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

現実と夢の境目

### 【Nコード】

N7830M

### 【作者名】

桜桃

### 【あらすじ】

「コナン君、私ね、新出先生と結婚することにしたよ。」  
この言葉の真意とは！？

この話は、名探偵コナン 自作小説  
にも掲載されています。

「コナン君、私ね、新出先生と結婚することにしたよ。」

突然の言葉。

「え？し、新一兄ちゃんは！？どうするの！？」

「コナン君、私、もう27歳なんだよ？人並みに幸せになりたいよ。」

「ら・・・ん・・・ねえ・・・ちゃん・・・」

「そんな顔しないでよ！お姉ちゃんを祝福してくれないの？」

「・・・・・・・・し、幸せになってね・・・」

無理やりの笑顔。

「ありがとう。コナン君。」

（10年間もほっときっぱなしにした俺に蘭の幸せを奪う権利はない。）

「で？あなたはそれで、ノコノコと私の家に来たわけ？」

「ああ。」

「はあ。情けないわね。」

「しょうがねえだろ。蘭の幸せを奪う権利は俺には・・・」

「甘えるんじゃないわよ！」

「え？」

「あなた、何様のつもり？ほっときっぱなしにしておいて、幸せを奪う権利はない？」

「笑わせないでよ。十分あなたは彼女の幸せを奪ってたのよ？」

「・・・」

「新出先生と結婚することが本当に彼女の幸せなの？」

「え？」

「私はそう、思わない。彼女が一生愛するのは工藤君、あなたよ。そして、あなたも彼女を。でしょ？」

「・・・ああ。」

「だったら、さっさといきなさいよ。そして、自分の本当の気持ちと言ってきなさい。」

「じゃないと、一生後悔するわよ。多分、彼女もね。」

「サンキュー！灰原！！」

「毛利探偵事務所」

「おじさん！蘭姉ちゃんは！？」

「まだ帰ってねえぞ。」

「え？」

「どうせ、新出先生と一緒にだろ。」

コナンは必死に探し回る。

あらゆるところへ。

検討もなしに。

新一と蘭の思い出の場所をただ、

ひたすら。

最後にやってきたのは、

工藤邸。

「蘭！」

「コナン・・・君？」

「蘭！」

「だめ・・・だね。やっぱり、新一のことが忘れられない。  
10年待ってだめだったらあきらめようって思ってたのに・・・」

「あきらめなくていい！だって、俺が、俺が工藤新一だから！  
結婚すんなよ！」

「・・・高校生になったらますます似ちゃったね。」

「似てるとかじゃなくて、本当に・・・」

「ありがとう。でもね、やっぱり、待つのはつらいんだよ。  
ごめんね。コナン君。」

「蘭。」

「じゃあ、私、これから新出先生と打ち合わせだから。  
気をつけて帰るのよ。コナン君。」

「待てよ、待てよ！ーあああん！」



「・・・ン君。コナン君？」

「え？」

「大丈夫？ずいぶんうなされてたみたいけど・・・？」

コナンを起こした蘭は制服姿。

コナン自身もまだ、小学一年生の姿。

「ら、蘭姉ちゃん！新出先生と結婚するんじゃない？」

「結婚！？私はまだ17よ？それに、新出先生と結婚するはずないじゃない。」

「そ、そっか・・・」

「寝ぼけてるの？」

「ううん。大丈夫、気にしないで。蘭姉ちゃん。」

「そう？」

蘭はお茶を淹れようと

台所へと向かう。

「ね、ねえ！」

「なあに？」

「もし、10年たっても20年たっても新一兄ちゃんが戻らないときはどうする？」

「・・・あきらめるよ。」

「え？」

「でも、待ってる。」

「ど、どういう意味？」

「私の新一への思いが通じることとはあきらめる。  
でも、死んでも戻ってくるっていう新一の言葉を信じて、待つ  
る。」

それがたとえ、10年でも、20年でも。」

真剣なまなざし。

「ら・・・んねえ・・・ちゃん。」

「もう！いきなり変なこと聞くから驚いちゃったじゃない。」

「ご、ごめんね。で、でもね！新一ちゃんはいつでも蘭姉ちゃん  
のこと

思ってるからね！」

「・・・だといいね。」

コナンはこのときほど、

元に戻りたいと思ったことはないだろう。

夢がいつ、現実なるか・・・

わからないのだから。

（後書き）

意味不明でどうもすみません。

見ていただいた方にお詫び申し上げます。

理解いただけた人はいたでしょうか？

一人でもいてほしいのですが・・・

つまあ、今後の作品もよろしく願いいたします。

桜桃

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7830m/>

---

現実と夢の境目

2011年10月7日03時45分発行